

“教育のゲーミフィケーション”を具現化！オンライン学習教材「すらら」 「すらら」が東南アジアで初導入！ ～ロングステイしたいトップ1・2(※)の国に5月に導入塾が開校～

(※)「ロングステイ希望国ベスト15」一般財団法人ロングステイ財団 2013年4月16日公表
株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）のオンライン学習教材「すらら」が、5月にマレーシアとタイの学習塾に導入され、東南アジアに進出いたします。

今回、「すらら」を導入いただくことになったのは、「すらら」がインターナショナルスクールに通う日本人児童・生徒の日本語能力の向上や、日本帰国時に生じる進度やカリキュラムのギャップへの対応が可能のためです。「すらら」は、国語・数学・英語の三教科について、小学校高学年から高校生の学習指導要領に準拠しており、インターネットを通じてパソコンで学ぶことができるアニメーション教材で、個人のレベルやペースに合わせた学習ができ、2万人以上にご利用いただいています。また、「すらら」の利用者であればどなたでも、学習時間や学習量などの努力指標で競い合う大会に参加できるため、日本にいる生徒とも競い合いながら学習することが可能です。

昨今、子どもに国際教育を受けさせることを目的とした教育移住への注目が高まっています。海外移住先としてはマレーシアやタイの人気の高いですが、インターナショナルスクールが充実しており教育特区のあるマレーシアのジョホールバルや、親日的なタイは、教育移住の観点からも注目を集めています。一方で、教育移住は、インターナショナルスクールに通学した場合、国際色豊かな環境で学習することが出来るものの、日本語能力の維持・向上の難しさといった問題があります。この問題に対し、「すらら」の国語は文の構成から長文の読み解き方などを、ロジカルかつスモールステップで能動的に学習でき、日本語能力の維持・向上が期待できることから、日本人移住者のニーズに応えることが可能です。

【導入学習塾 概要】

○代表自身が子どものために教育移住

■名称：Change 自立型個別学習

(所在地：マレーシア ジョホールバル、代表：澤登 智子、

URL：<http://www.change2013.jp/>、 開校予定：2013年5月2日)

【開校の経緯】

以前、代表が家族で海外赴任した際、子どもをインターナショナルスクールに通学させたが、帰国後に日本語力を身に付けさせることに非常に苦労し、また、日本と環境が異なるなかで、日本のカリキュラムを学習させることに難しさを感じた。その経験から、今回、代表自身の子どもを教育移住させるにあたり、「すらら」を導入した学習塾を開校することを決意。

○日本の IT 企業が進出

■名称：すらら塾 バンコク・トンロー校

(所在地：タイ バンコク市内 トンロー地区、企業名：株式会社 iSERVE、代表取締役：斉藤勲、

URL：<http://iserve-education.com/>、 開校予定：2013年5月2日)

【開校の経緯】

現在、同社が日本で運営しているエンドユーザー向けの「エデュケーションセンター」をさらに発展させるよう模索している中で、「すらら」と出会い、日本人人口が急増しているタイのバンコクの状況を知り、ITを教育現場に活かすことで、海外子女の学習対応に様々な可能性が見いだせるのではないかと、ということでタイでの開校を決意。

すららネットでは、東南アジアのほか、中国、北米においても導入されていますが、今後、さらに海外子女の教育に役立てていただけるよう展開させてまいりたい所存です。

■オンライン学習教材「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【ユーザー数】 20,000名（2012年1月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、オンライン学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーションの要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：6,285万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：オンライン学習による教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>